

「平成29年度全国学力・学習状況調査」における

岬町の調査結果概要

平成29年10月

岬町教育委員会

全国学力・学習状況調査における本町の調査結果 平成29年10月

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の名称及び実施日

『平成29年度全国学力・学習状況調査』 実施日：平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年（100名）、 中学校第3学年（125名）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

小学校：国語 A・算数 A（主として「知識」に関する問題）
国語 B・算数 B（主として「活用」に関する問題）

中学校：国語 A・数学 A（主として「知識」に関する問題）
国語 B・数学 B（主として「活用」に関する問題）

主として「知識」に関する問題

- ◇身につけておかなければ後の学年に影響を及ぼす内容
- ◇実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用」に関する問題

- ◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対するアンケート調査

- ◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対するアンケート調査

- ◇指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

※ 本調査の結果は学力の一部です。

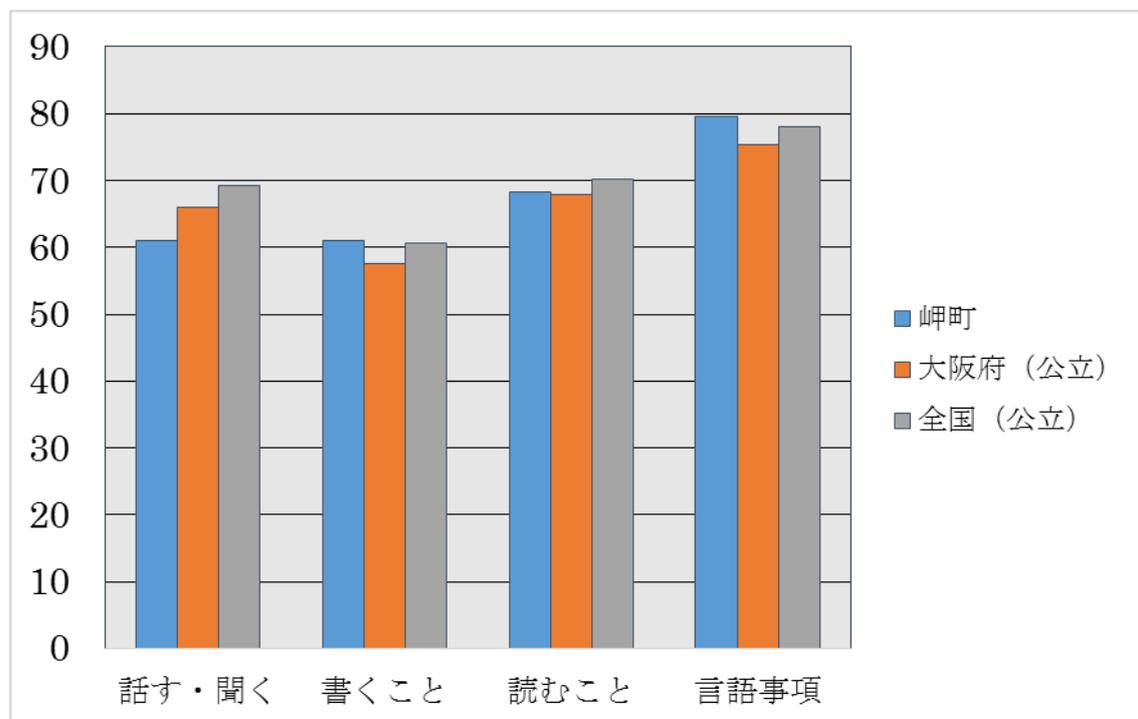
※ 参加児童生徒数は公立小学校 1,012,542 名・公立中学校 990,279 名です。

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査 報告 平成 29 年 10 月

小学校国語 A

◇問題数等 国語 A の問題は、主として知識に関する問題で、全部で 15 問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

■「話すこと・聞くこと」については、61%（対全国比-8.2%）の正答率であり、課題が大きい。

◎「書くこと」については、61.0%（対全国比+0.4%）の正答率であり、概ね良好である。

●「読むこと」については、68.3%（対全国比-1.9%）の正答率であり、やや課題がある。

○「伝統的な言語文化（言語事項）」については79.5%（対全国比+1.5%）の正答率であり、良好である。

◇A 区分問題にみえる成果と課題

●互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら進行にそって話し合うことに課題がある。

【例】タイトルを決める話し合いにおける報告の説明として、適切なものを選択する。（正答率 61%）

○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くことができている。

【例】お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、内容の説明として適切なものを選択する。（正答率 81%）

●俳句の情景を捉えることについて課題がある。

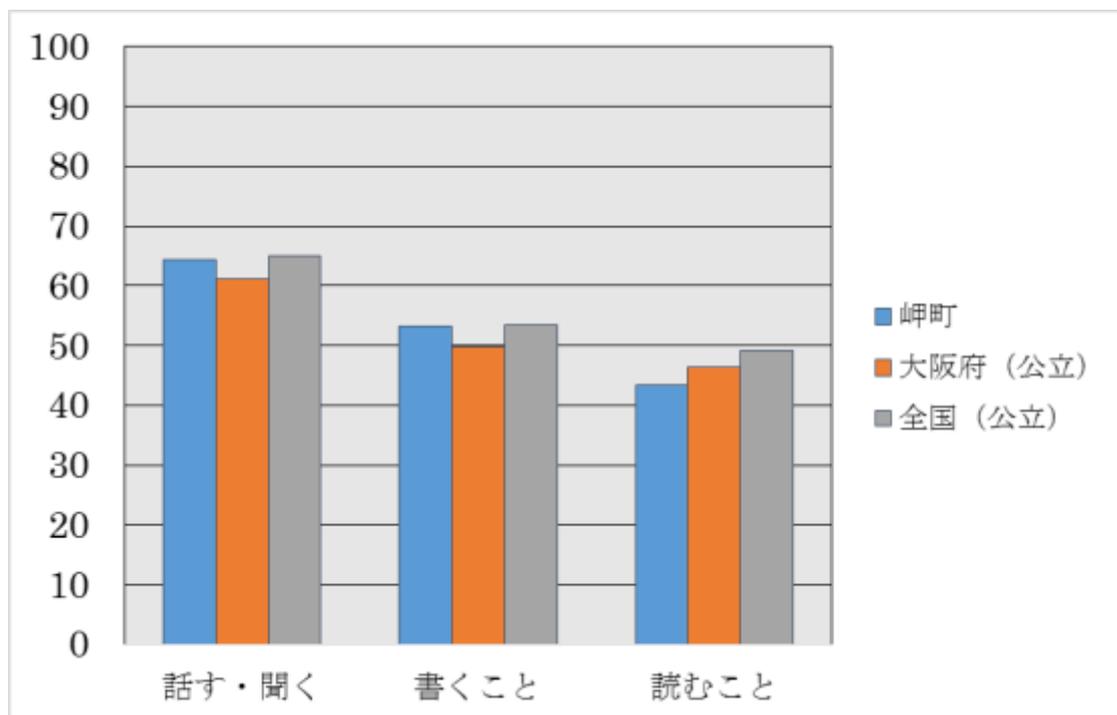
【例】俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する。（正答率 70%）

○漢字を正しく「読む」「書く」ことについては、80%以上の正答率があるもの、38%の低い正答率もある。【例】「指示」読む（正答率 99%）「対象」書く（正答率 38%）

小学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で9問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

◎「話す・聞く」については、64.3%（対全国比-0.6%）の正答率であり、概ね良好である。

○「書くこと」については、53.2%（対全国比-0.2%）の正答率であり、概ね良好である。

●「読むこと」については、43.3%（対全国比-5.9%）の正答率であり、課題が大きい。

◇B区分問題にみえる成果と課題

○話の構成を工夫して話すことができるなど、スピーチメモのよさを捉えることができる。

○目的や意図に応じ、引用して書くことについて、良好である。

【例】同じ考えの人を説得するために引用する文章を選択する。（正答率79%）

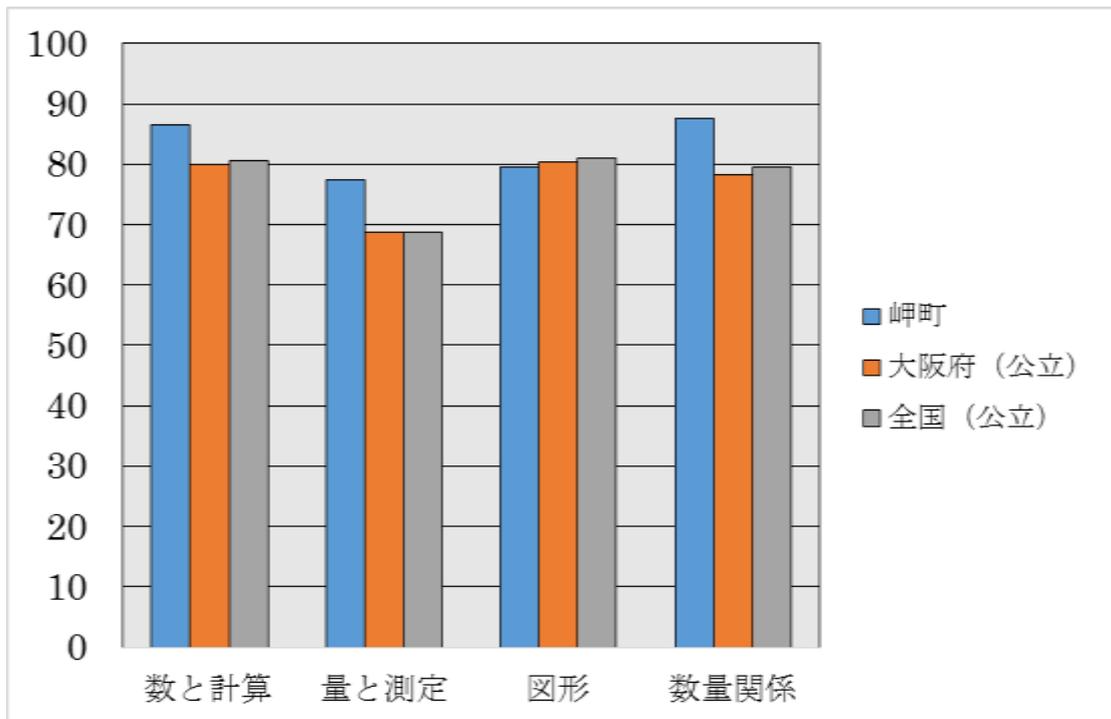
●自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題がある。

【例】「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。（正答率18%）

小学校算数A

◇問題数等 算数Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で16問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- ◎「数と計算」については、86.5%（対全国比+5.9%）の正答率であり、特に良好である。
- 「量と測定」については、77.5%（対全国比+8.7%）の正答率であり、特に良好である。
- 「図形」については、79.5%（対全国比-1.6%）の正答率であり、やや課題がある。
- ◎「数量関係」については、87.6%（対全国比+8%）の正答率であり、特に良好である。

◇A区分問題にみえる成果と課題

○基礎・基本の計算力については、ほぼ80~90%以上の正答率であり良好である。

【例】 $10.3+4$ 、 $5\div 9$

○高さが等しい二等辺三角形について、底辺と面積の関係を理解している。

【例】立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ（正答率76%）

●正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成することに課題がある。

【例】円を使って正五角形を書くとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを計算することにやや課題がある。（正答率71%）

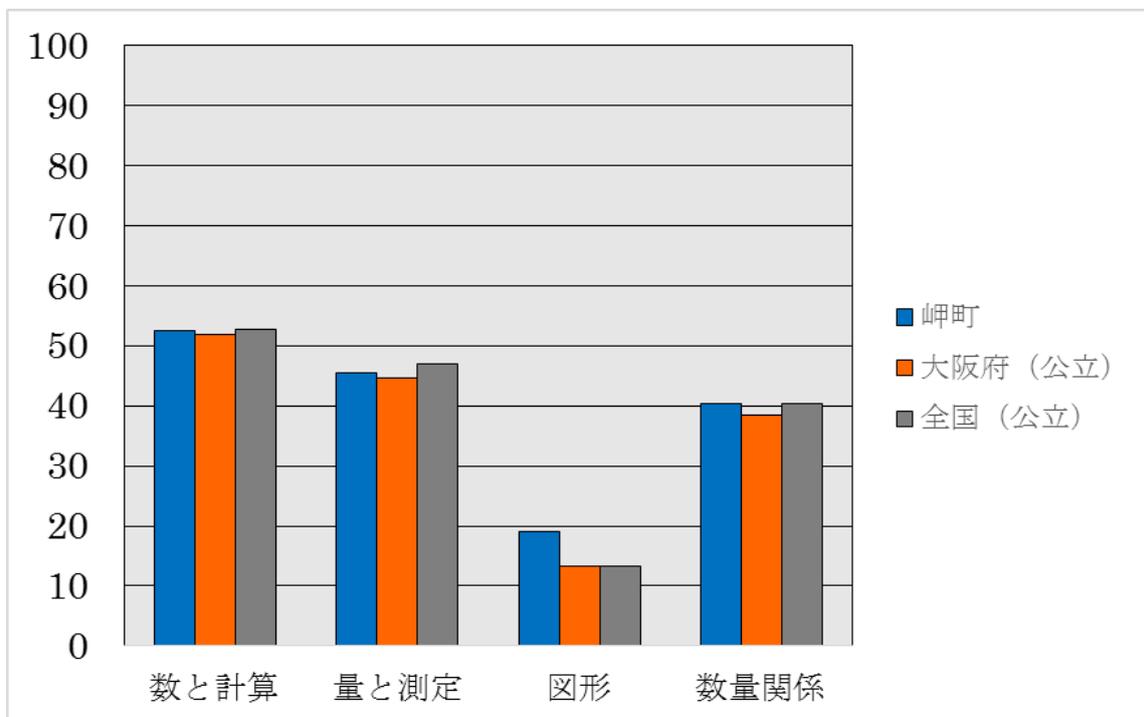
○未知の数量を表す口を用いて、問題場面を除法の式に表すことについて良好である。

【例】はじめに持っていたシールの枚数を口枚としたときの問題場面を表す式を選ぶ（正答率94%）

小学校算数B

◇問題数等 算数Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で13問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

◎「数と計算」については、52.6%の正答率であり、概ね良好である。（対全国比-0.2%）

●「量と測定」については、45.5%の正答率であり、やや課題がある。（対全国比-1.5%）

◎「図形」については、19%の正答率であり、特に良好である。（対全国比+5.8%）

◎「数量関係」については、40.3%の正答率であり、概ね良好である。（対全国比+0.3%）

◇ B区分問題にみえる成果と課題

○示された条件を基に、適切な式を立てることができる。（正答率77%）

●仮の平均を用いた考えを解釈して、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することに課題がある。（正答率20%）

○身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することについて良好である。（正答率19%）

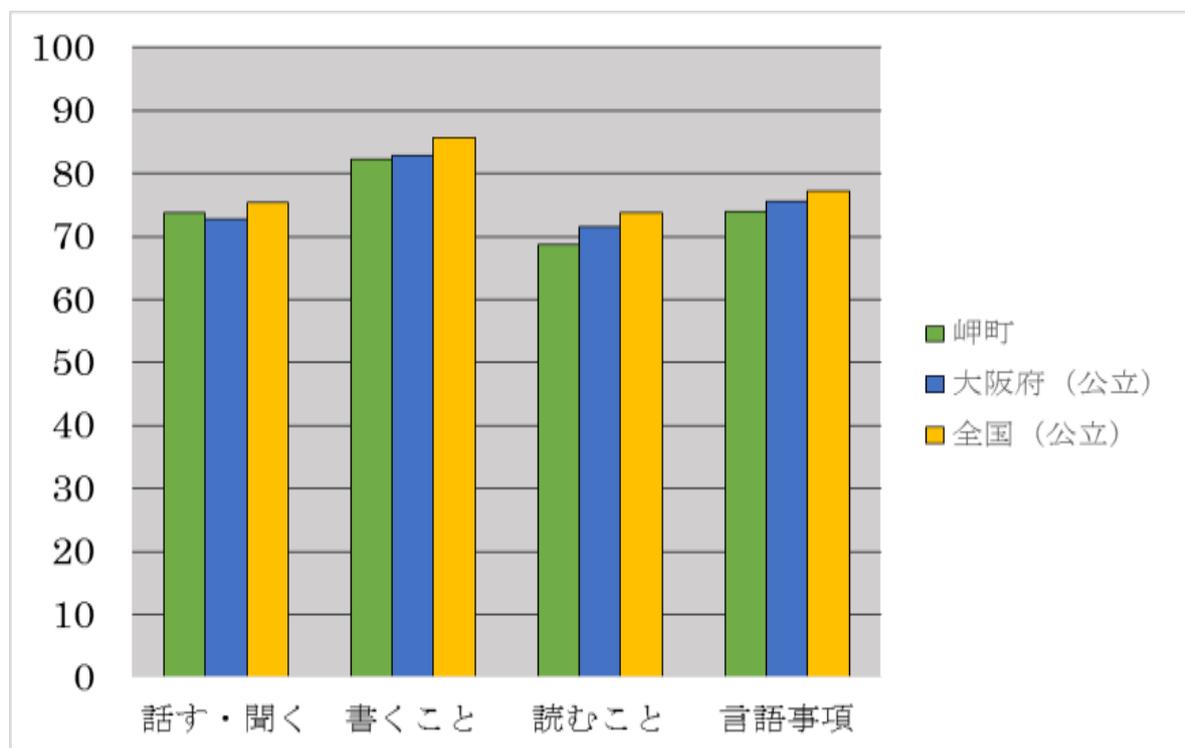
【例】与えられた情報から、基準量、割合の関係を捉え、最大の満月の直径に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。（正答率12.3%）

○割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことについて良好である。（正答率36%）

中学校国語A

◇問題数等 国語Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で32問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「話すこと・聞くこと」については、73.8%の正答率でやや課題がある。(対全国比-1.6%)
- 「書くこと」については、82.2%の正答率であり、課題がある。(対全国比-3.5%)
- 「読むこと」については、68.8%の正答率であり、課題が大きい。(対全国比-5%)
- 「言語事項」については、73.9%の正答率であり、課題がある。(対全国比-3.3%)

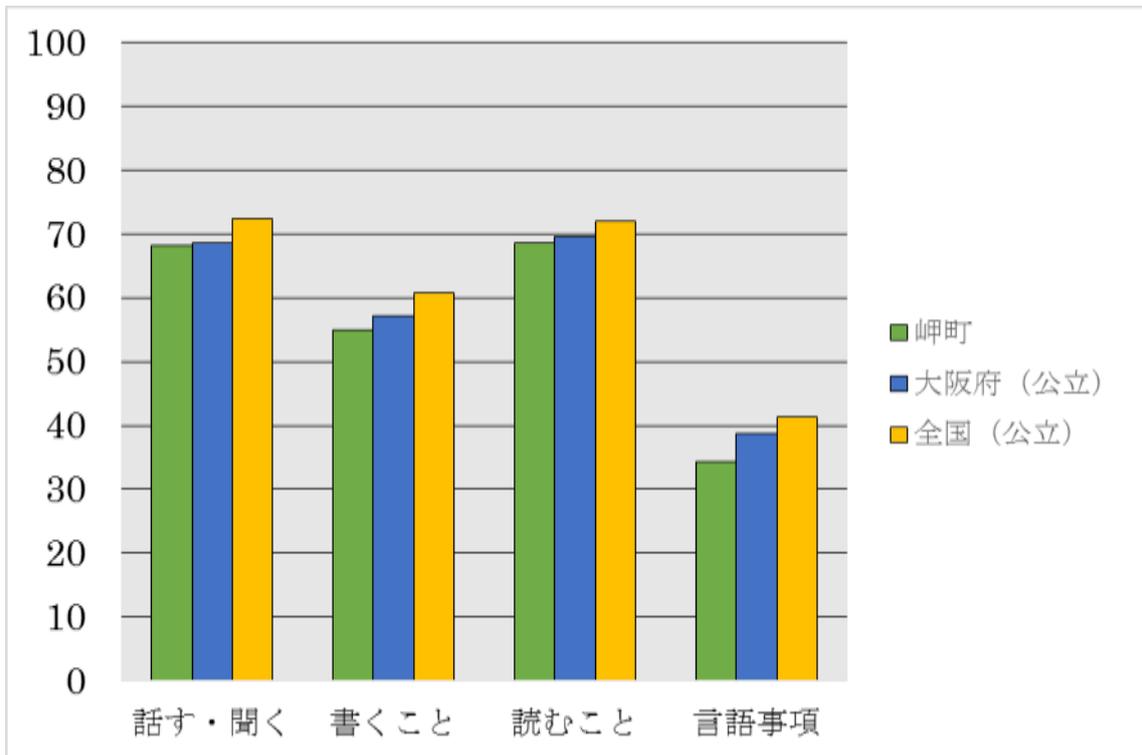
◇A区分問題にみえる成果と課題

- 相手に分かりやすいように語句を選択して話すことに課題がある。
【例】先生から必要な情報をもらうために適した表現に直す。(正答率46.4%)
- 書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書くことに課題がある。
【例】がんばってきた様子が読み手に伝わるように書き直す。(正答率76.8%)
- 文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くすることに課題がある。
【例】様子について説明したのとして適切なものを選択する。(正答率62.4%)
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解することに課題がある。
【例】話し合いの記録として適切な言葉を考える。(正答率19.2%)

中学校国語B

◇問題数等 国語Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で9問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「話すこと・聞くこと」については、68.3%の正答率で課題がある。(対全国比-4.1%)
- 「書くこと」については、55%の正答率であり、課題が大きい。(対全国比-5.8%)
- 「読むこと」については、68.6%の正答率であり、課題がある。(対全国比-3.5%)
- 「言語事項」については、34.4%の正答率であり、課題が大きい。(対全国比-7%)

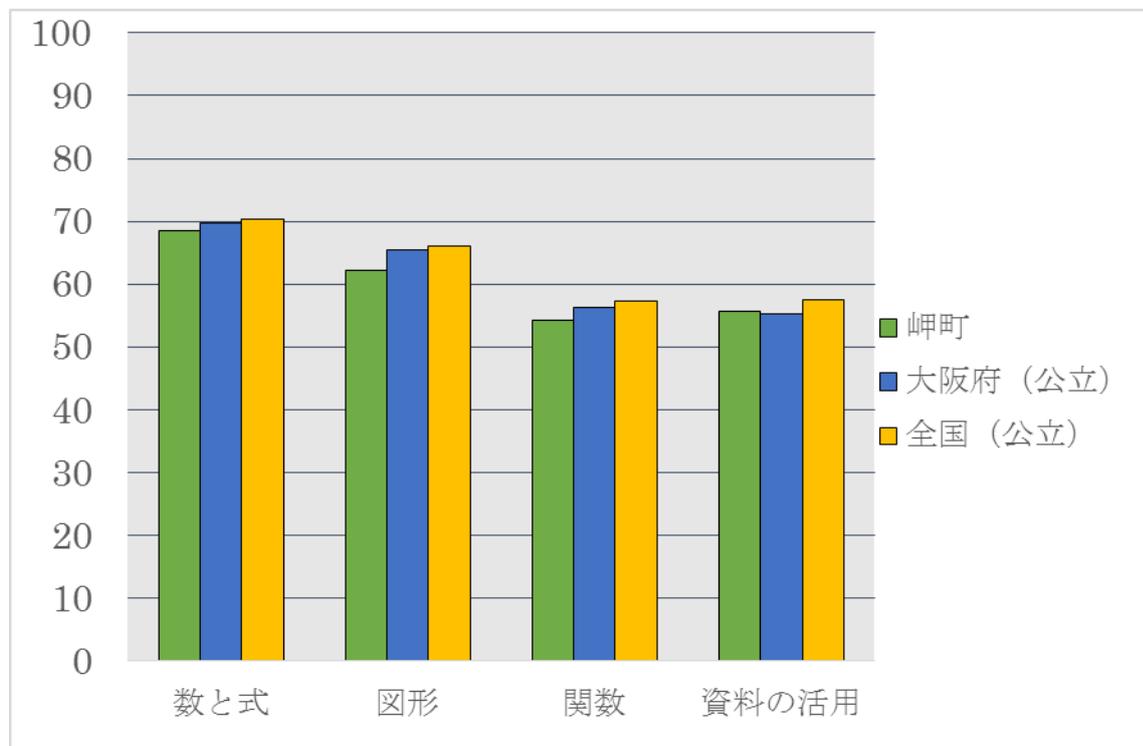
◇B区分問題に見える成果と課題

- 相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことに課題がある。
【例】スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。(正答率52%)
- 必要な情報を集めるための見通しをもつ。
【例】アンケートについて、内容をのせることで興味をもってもらえると考えた理由を書く。(正答率60.8%)
- 目的に応じて必要な情報を読み取る。
【例】太宰治と他の作者との関係を書き直したものを選択する。(正答率71.2%)
- 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。
【例】比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。(正答率34.4%)

中学校数学A

◇問題数等 数学Aの問題は、主として知識に関する問題で、全部で36問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、68.5%の正答率であり、やや課題がある。(対全国比-1.9%)
- 「図形」については、62.1%の正答率であり、課題がある。(対全国比-3.9%)
- 「関数」については、54.3%の正答率であり、課題がある。(対全国比-3.1%)
- 「資料の活用」については、55.6%以下の正答率であり、課題がある。(対全国比-2%)

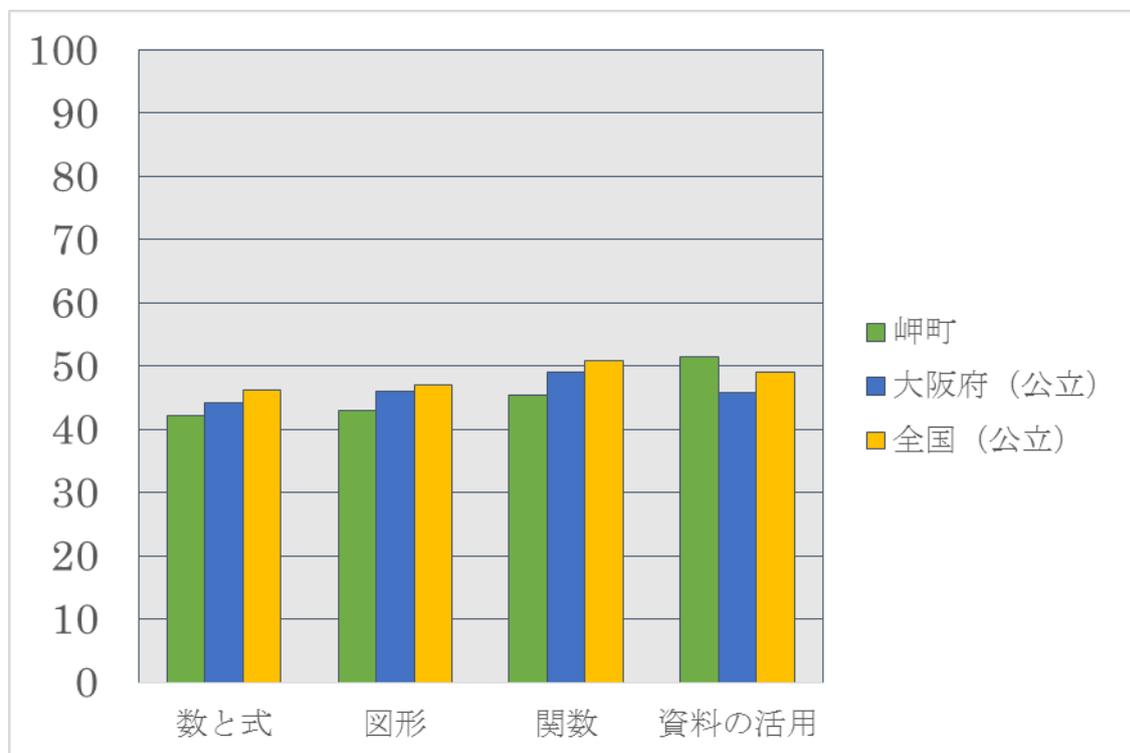
◇ A区分問題にみえる成果と課題

- 数量の関係を文字式で表すことに課題がある。
【例】5mの重さがagの1mの重さをaを用いた式で表す。(正答率46.4%)
- 扇方の弧の長さを求めることに課題がある。
【例】半径が5cm、中心角が120°の扇方の弧の長さを求める。(正答率24%)
- 一次関数の表において、変化の割合の意味を理解することに課題がある。
【例】変化の割合が2である一次関数の表を選ぶ。(正答率44.8%)
- 「同様に確からしい」ことの意味を理解できている。(正答率80%)

中学校数学B

◇問題数等 数学Bの問題は、主として活用に関する問題で、全部で15問ある。

◇調査結果 学習指導要領の領域別



◀ ◎昨年度に続けての良好・○良好・●課題・■昨年度に続けての課題 ▶

- 「数と式」については、42.1%の正答率であり、課題がある。(対全国比-4.2%)
- 「図形」については、42.9%の正答率であり、課題がある。(対全国比-4.2%)
- 「関数」については、45.3%の正答率であり、課題が大きい。(対全国比-5.5%)
- 「資料の活用」については、51.5%の正答率であり、良好である。(対全国比+2.4%)

◇B区分問題にみえる成果と課題

- 事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つことを説明することに課題がある。
【例】六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を求める。(正答率6.4%)
- 2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
【例】回転移動で図が重なるとき、どのような回転移動になるのか説明する。(正答率6.4%)
- 数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することに課題がある。
【例】与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める。(正答率32%)
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
【例】グラフの特徴を説明する。(正答率24.8%)

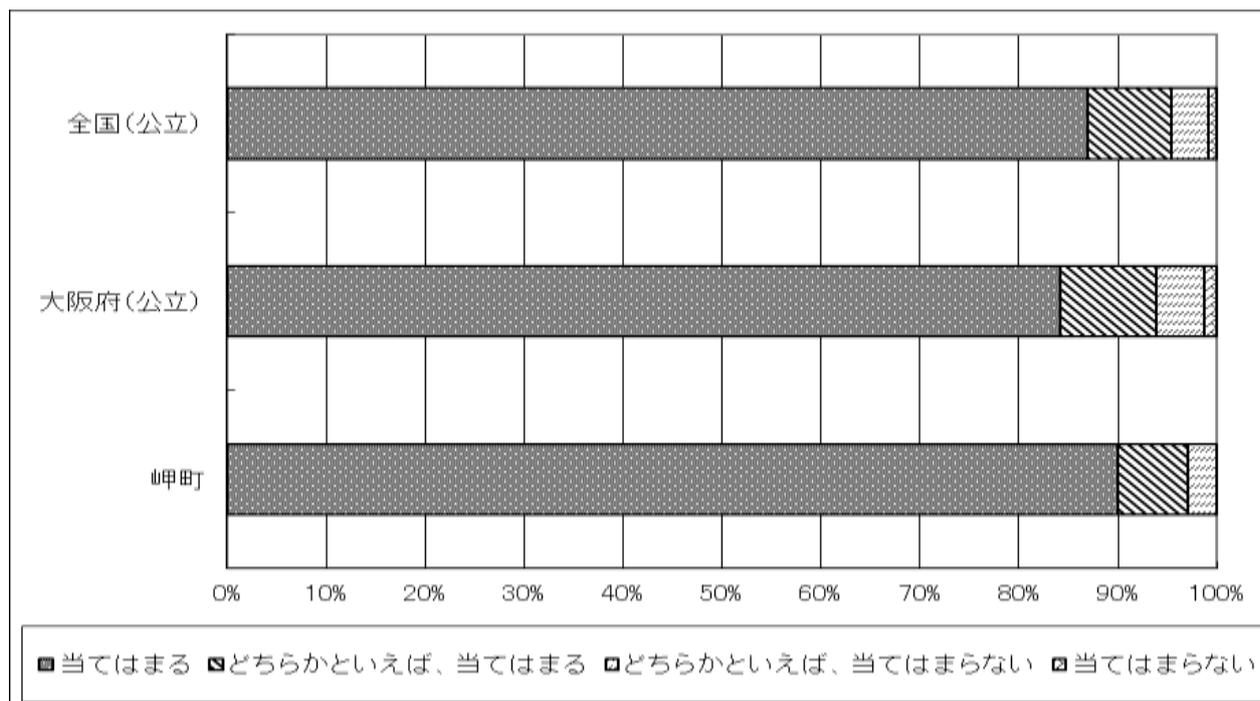
岬町の子どもたちの生活の様子

(小学校・中学校)

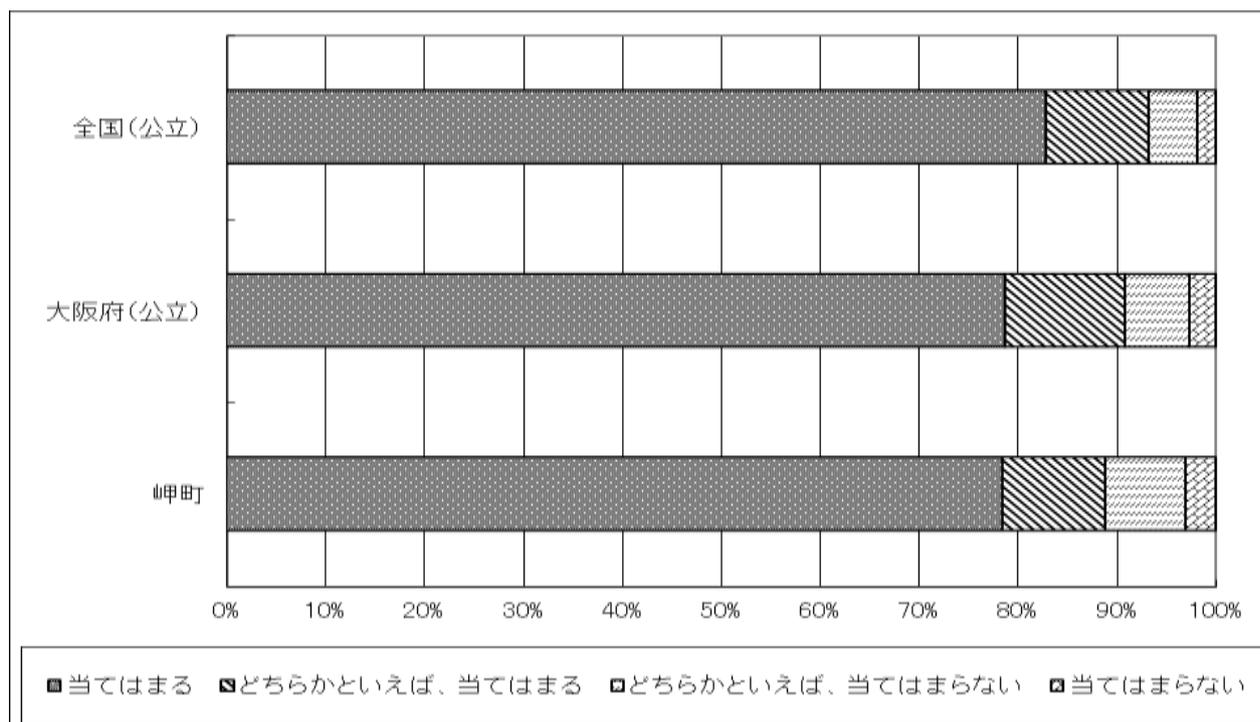
—児童・生徒質問紙より—

平成29年度

1, 朝ごはんを毎日食べていますか（小学校）

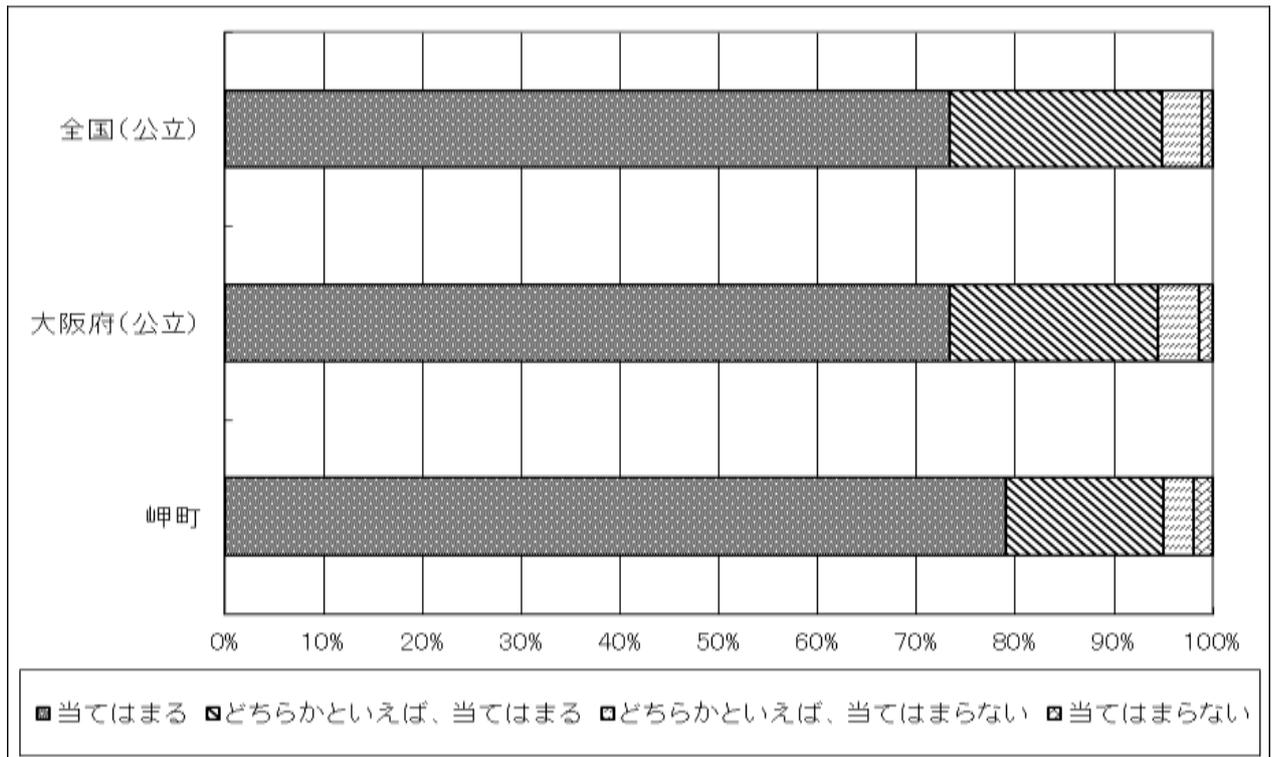


1, 朝ごはんを毎日食べていますか（中学校）

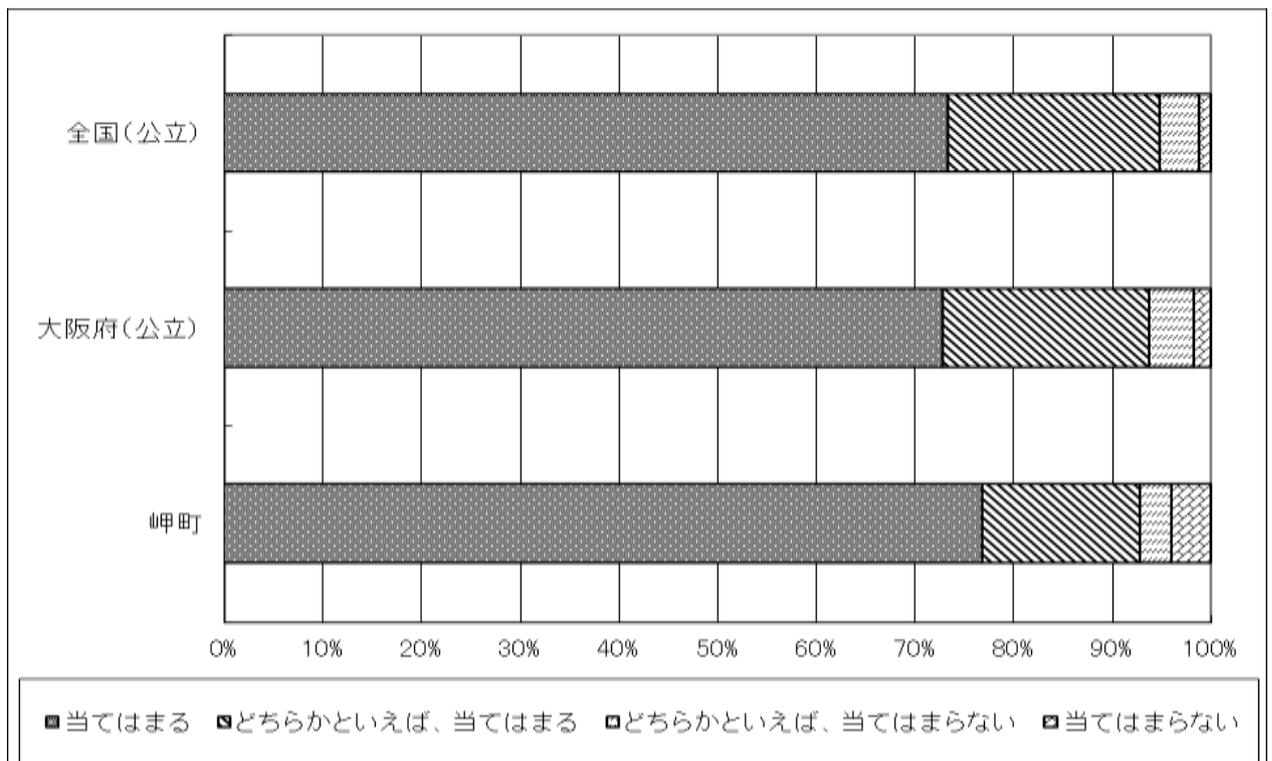


- 「している」「どちらかといえばしている」割合は、小学校では90%を超えている。
- 「していない」「どちらかといえばしていない」の児童・生徒について、今後とも状況を把握し家庭に対して丁寧な働きかけを続けていく必要がある。また、小中ともに食育の推進を図っていく必要がある。

2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（小学校）



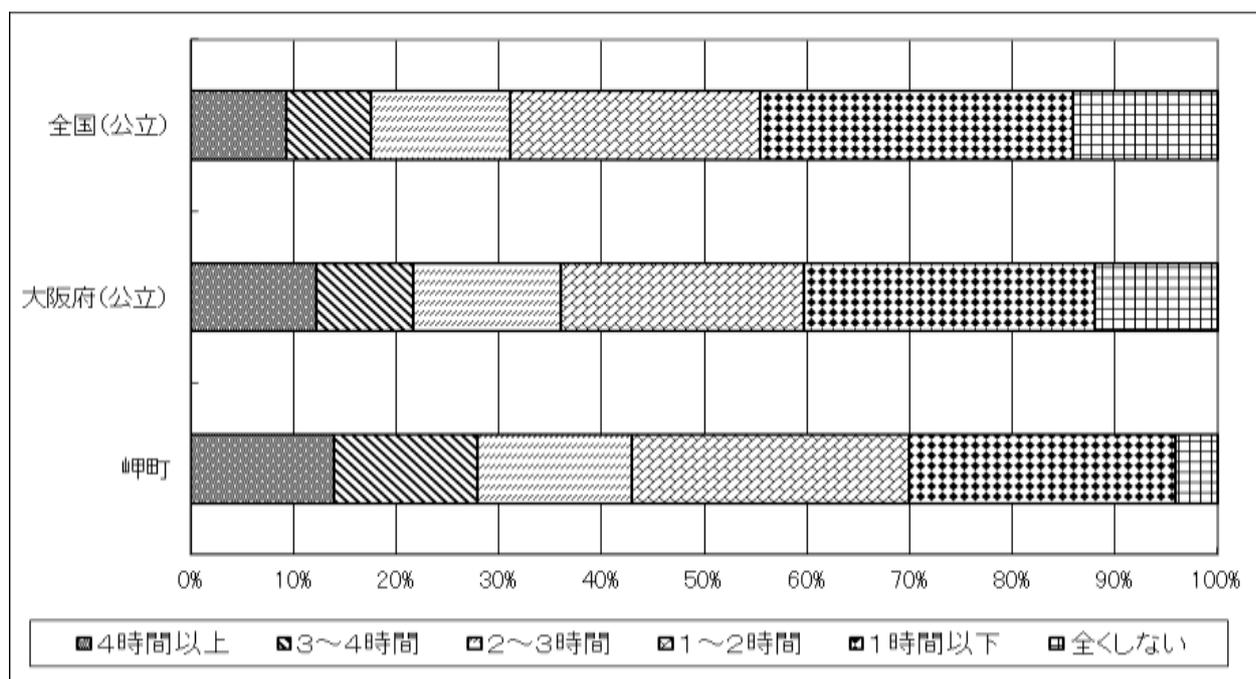
2. ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（中学校）



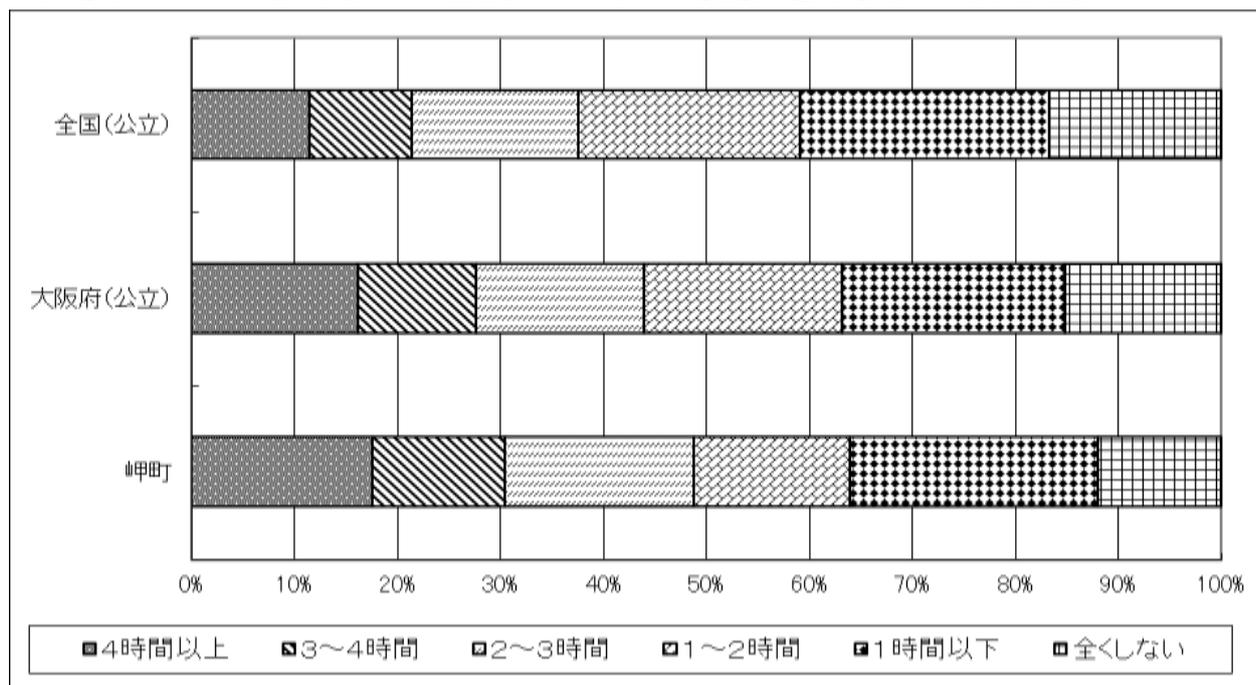
○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合は、小中学校ともに90%を超えている。

●「当てはまる」の割合が80%を下回っているため、小中学校ともに、今後とも達成感を得られ、意欲がわいてくる取組みを継続的に実施していく必要がある。

3. ふだん1日どれくらいの時間ゲーム（スマホ含）をしますか（小学校）

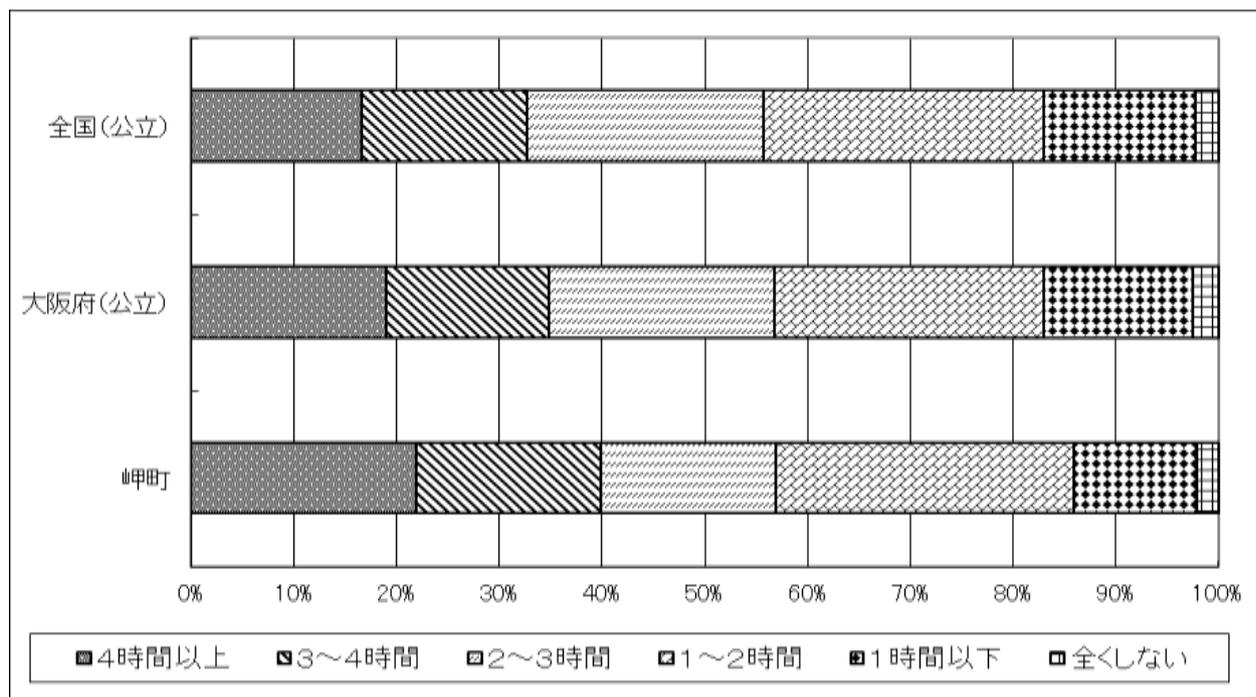


3. ふだん1日どれくらいの時間ゲーム（スマホ含）をしますか（中学校）

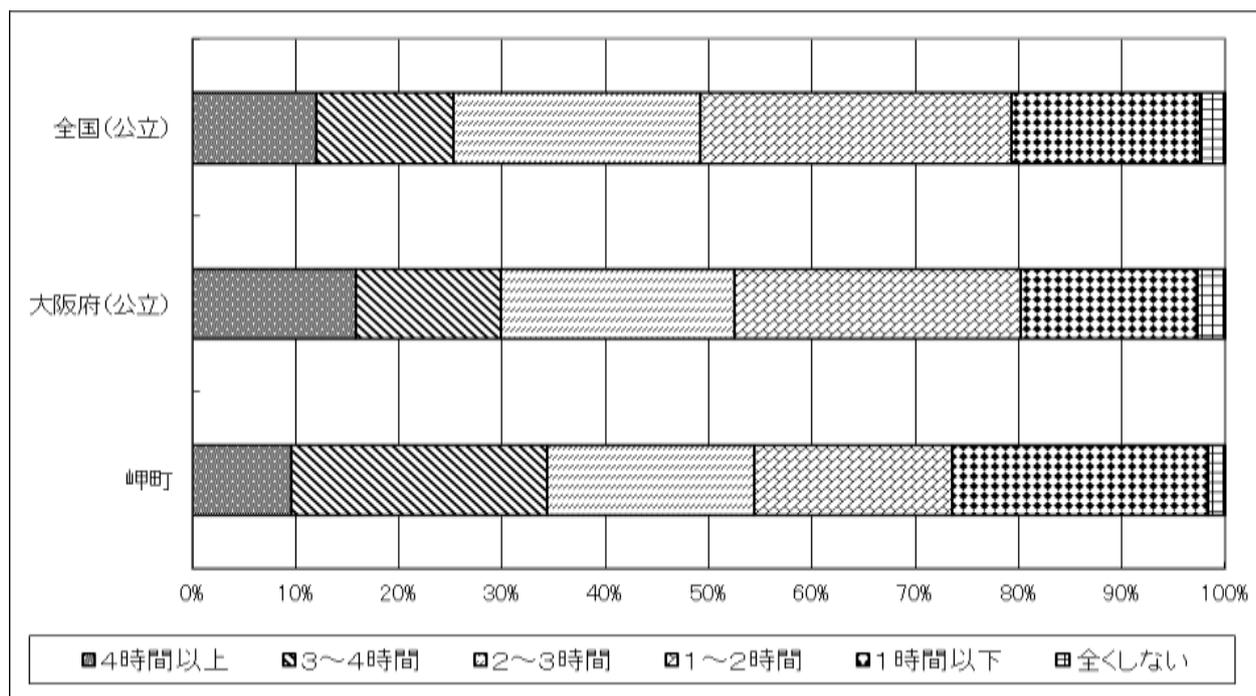


- 1時間以上使用している割合が、小中学校ともに増加傾向である。今後、スマートフォンやゲームなどに依存していく可能性があることから、家庭と連携しながら取組みを進めていく。
- とくに、中学校において、4時間以上使用している割合が増加している。携帯電話やスマートフォンでの通話やメールやインターネットの使用時間においても増加傾向にある。使い方やモラルなどについて、今後取り組んでいく必要がある。

4. ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（小学校）



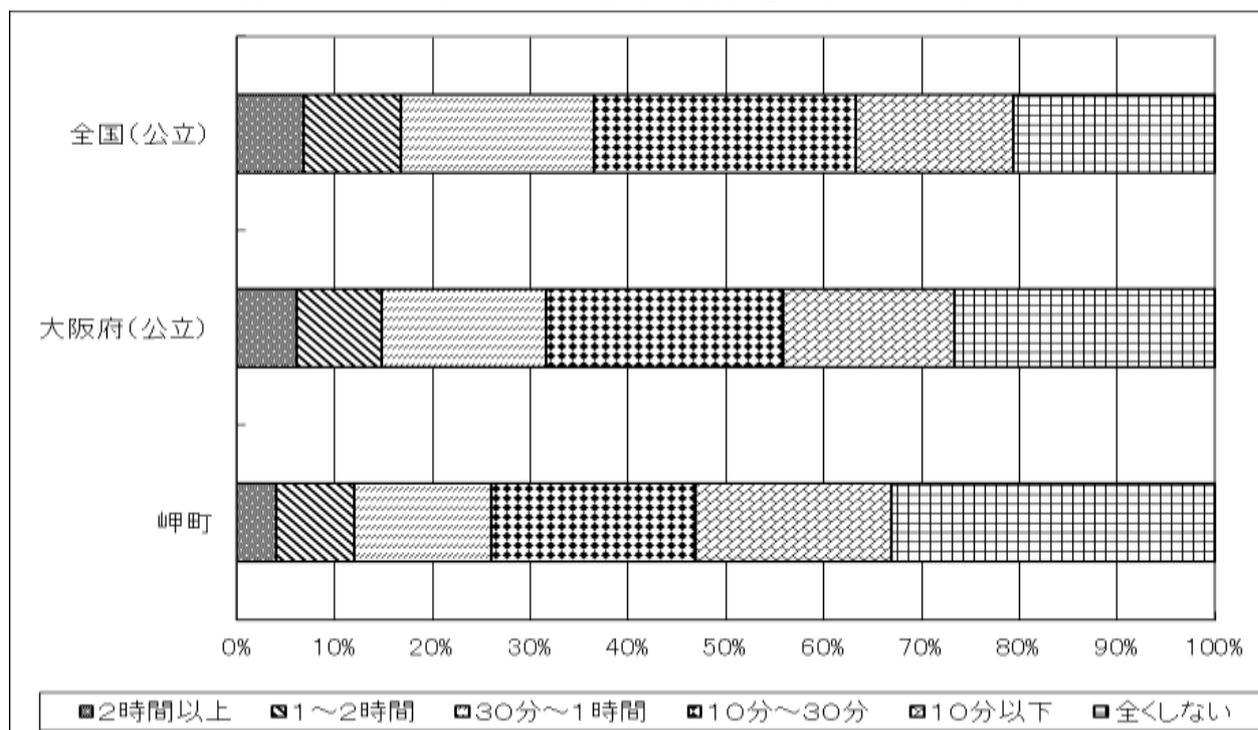
4. ふだん1日どれくらいの時間テレビ・DVD等を見聞きしますか（中学校）



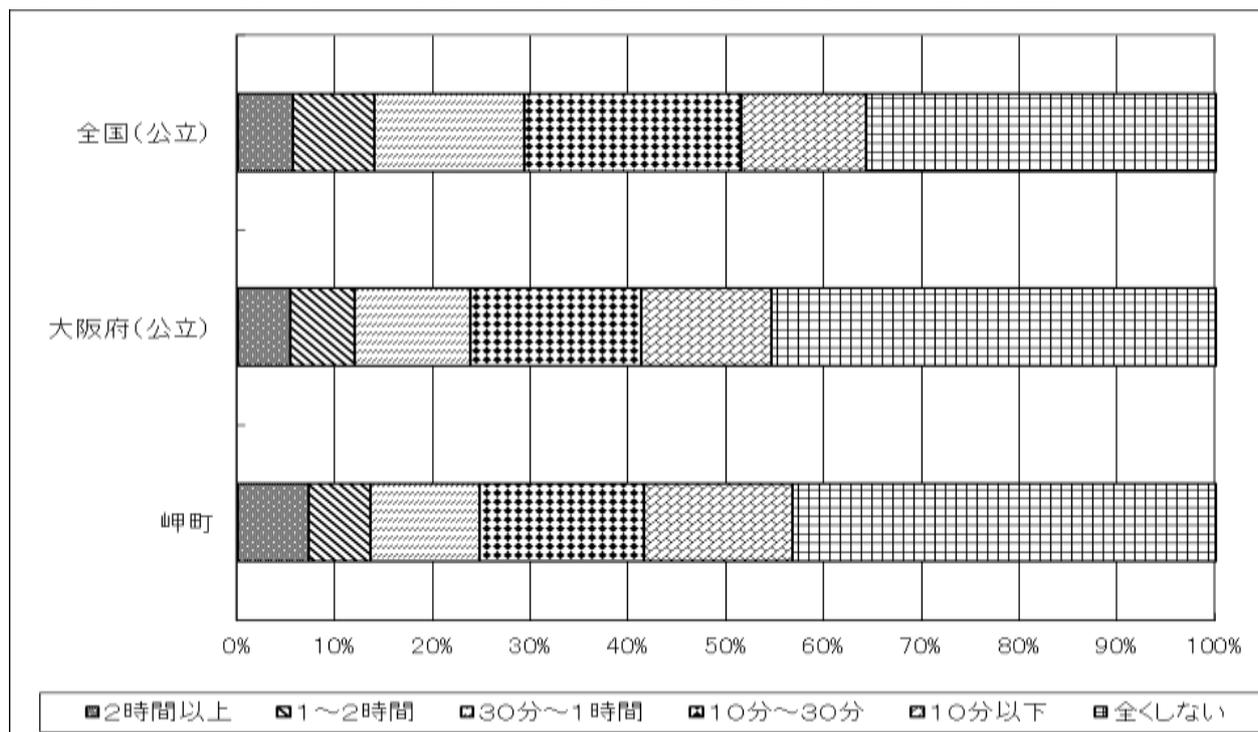
○前年度と比較して、中学校では長時間視聴する割合が減少している。今後も家庭と連携しながら進めていく。

●小学校においては、長時間視聴する割合が比較的高い。特に、小学校において、4時間以上視聴する割合が増加している。テレビに依存しない環境づくりについて、今後も家庭と連携しながら進めていく。家庭での視聴にあたりルールなど決める機会をもっていくことも大切である。

5. ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（小学校）

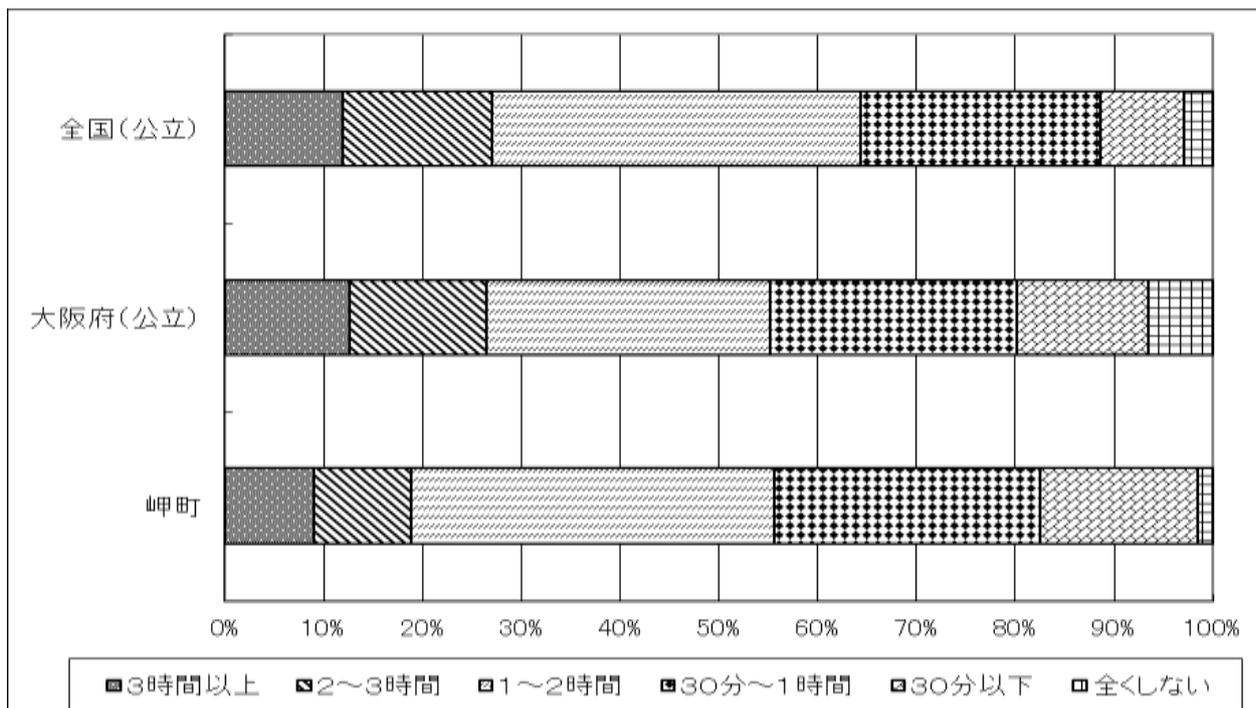


5. ふだん1日あたりどのくらい家や図書館で読書をしますか（中学校）

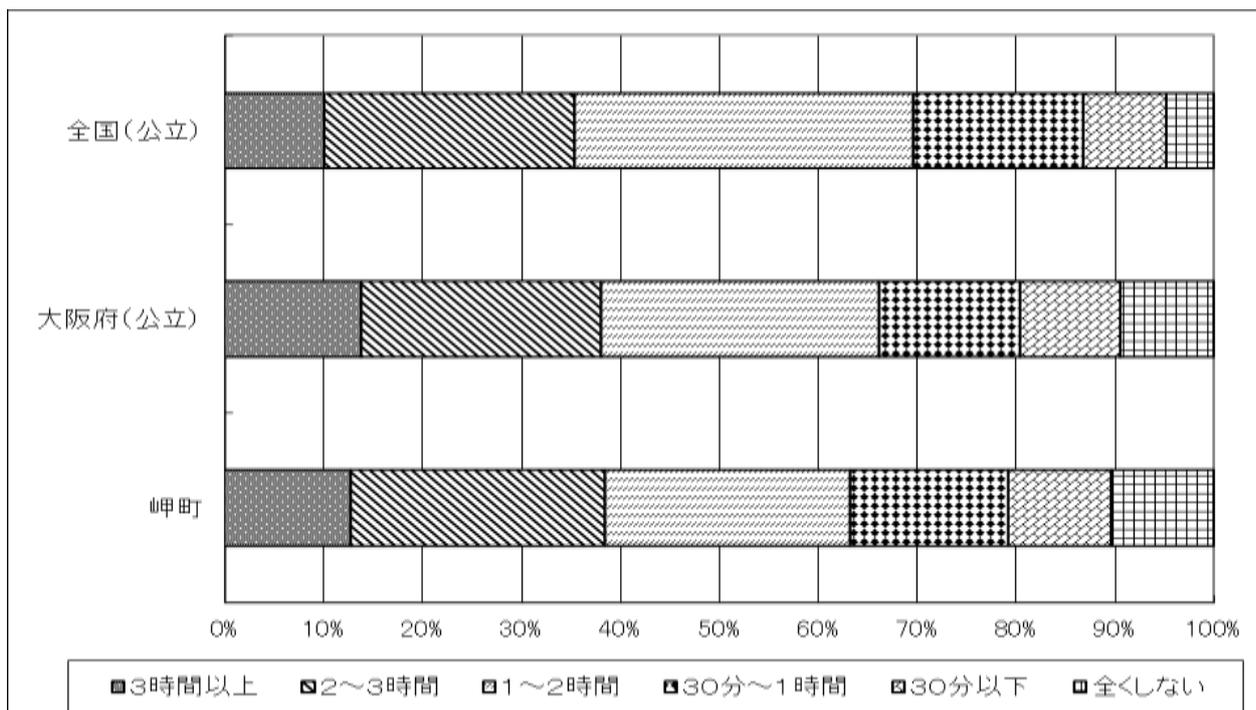


- 小中学校において、1日のうち読書を「全くしない」子どもの割合は、非常に増加している。小中学校ともに読書週間の確立が課題である
- 中学校において、1日のうち1時間以上読書している子どもの割合は、前年度と比較して増加している。

6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（小学校）



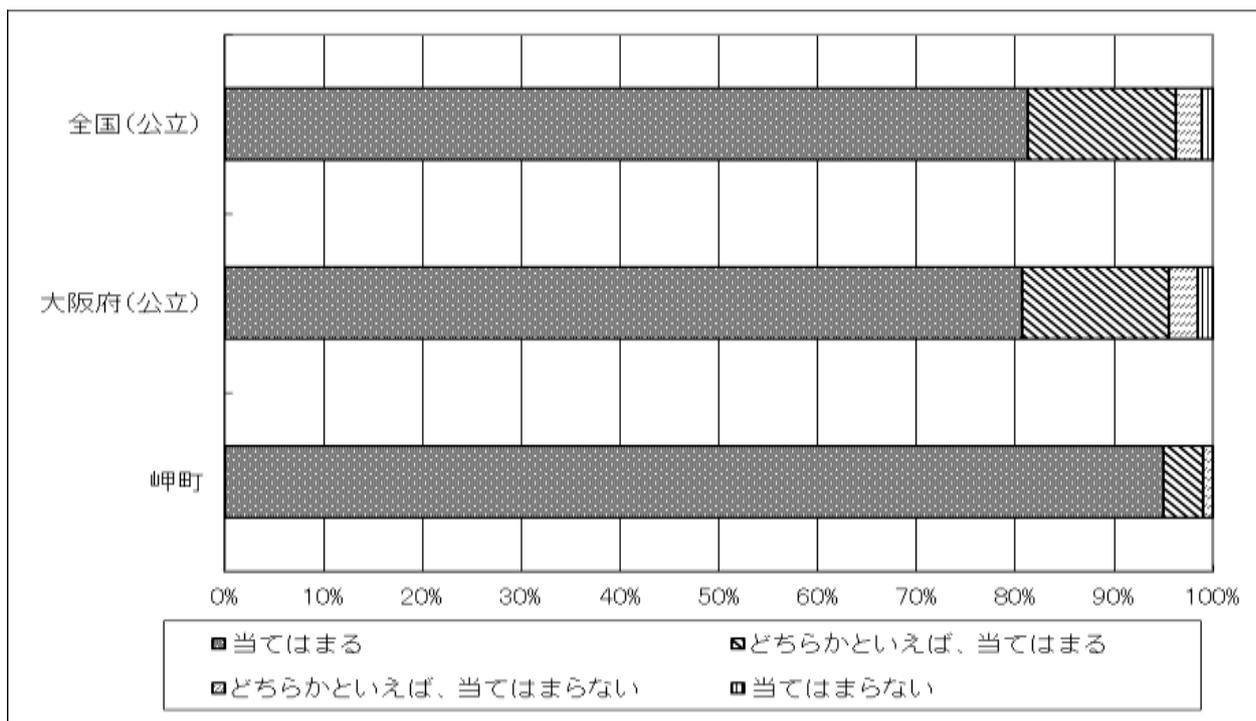
6, 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）（中学校）



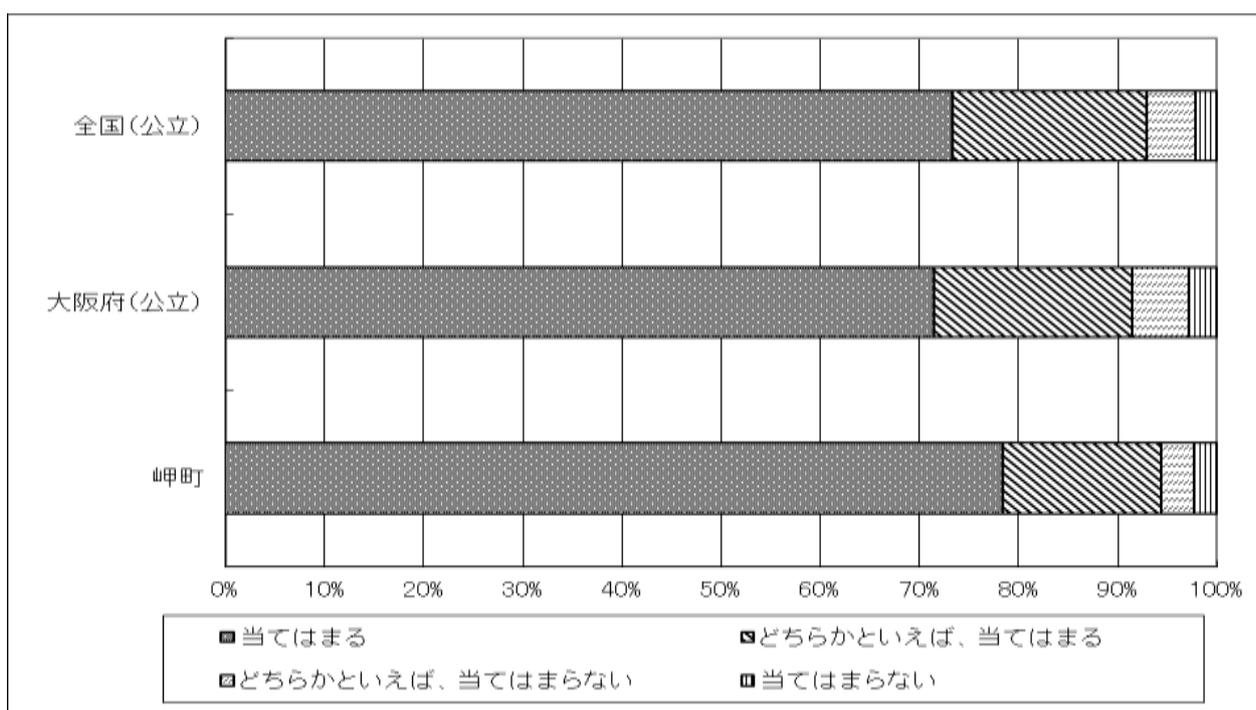
○中学校において、2時間以上勉強する割合が前年度に比べ増加している。「全くしない」割合も減少した。しかし、学習習慣の確立や家庭学習の定着を図っていく継続した取り組みが必要である。

○小学校の2時間以上勉強をする割合が減少している。また、1時間～2時間勉強する割合が更けていることから、学習習慣の確立や定着について、今後とも取り組みを進める。

7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（小学校）

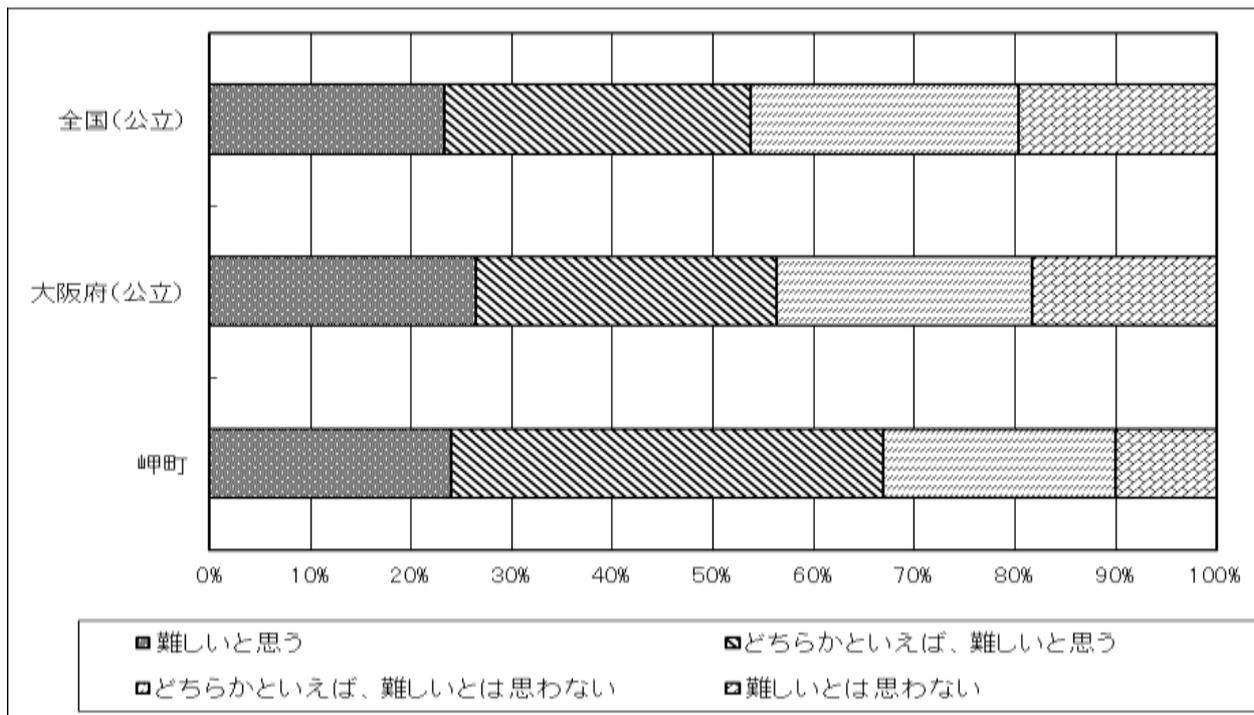


7. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（中学校）

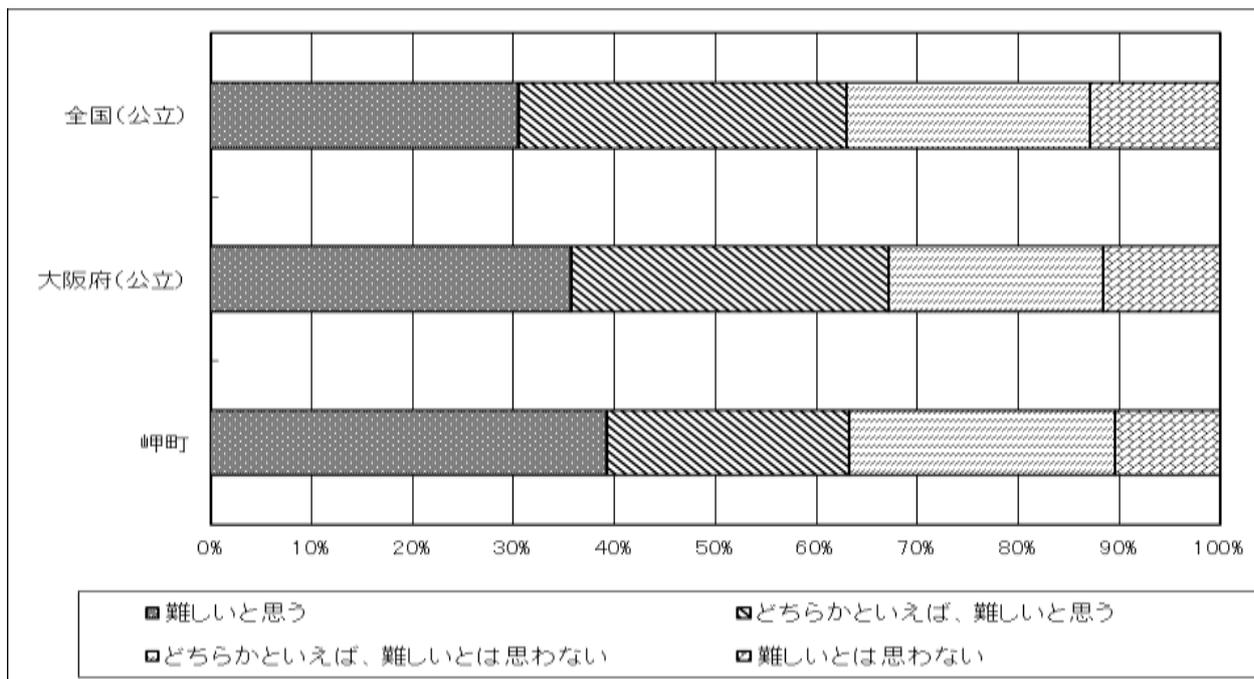


- 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合は、小中学校ともに90%を超えている。今後ともいじめ問題を含む人権教育・道徳教育の取り組みを一層進めていく必要がある。
- 「当てはまる」割合は、小学校では95.0%であり、年々増加している。小中学校ともに取り組みを一層進めていく必要がある。

8, 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（小学校）



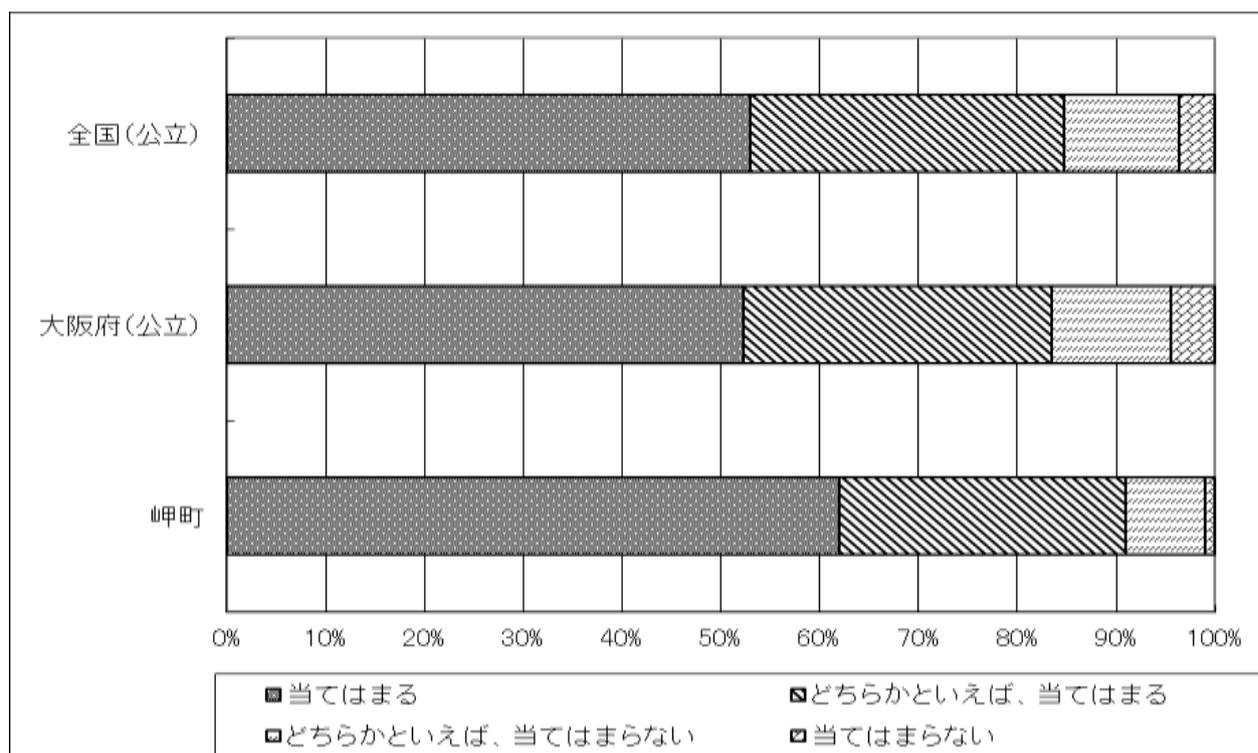
8, 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（中学校）



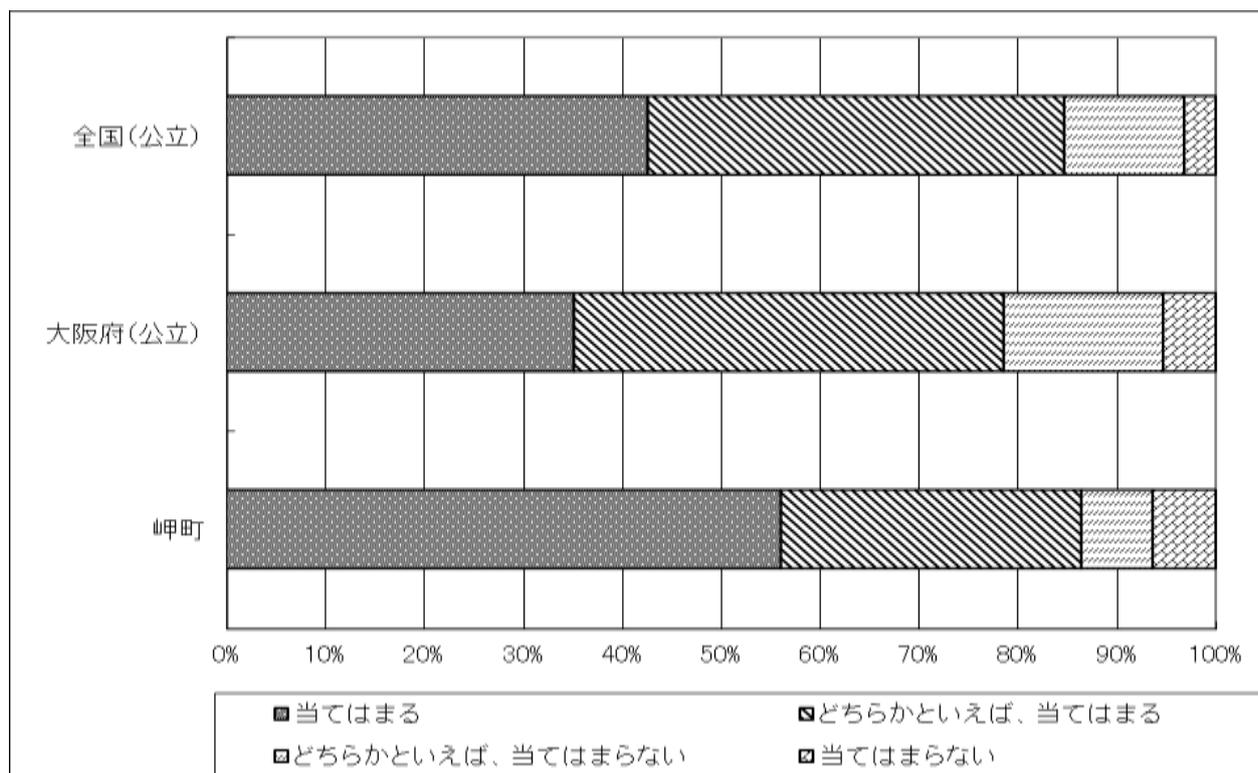
○小学校では「難しいとは思わない」の割合が昨年度に比較して減少した。「どちらかといえば、難しいと思う」の割合が依然高いことから、引き続き、授業改善を進めていく必要がある。

●中学校において「難しいとは思わない」の割合は、前年度と比較して10%増加しており、今後とも授業改善を進めていく必要がある。

9. 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（小学校）



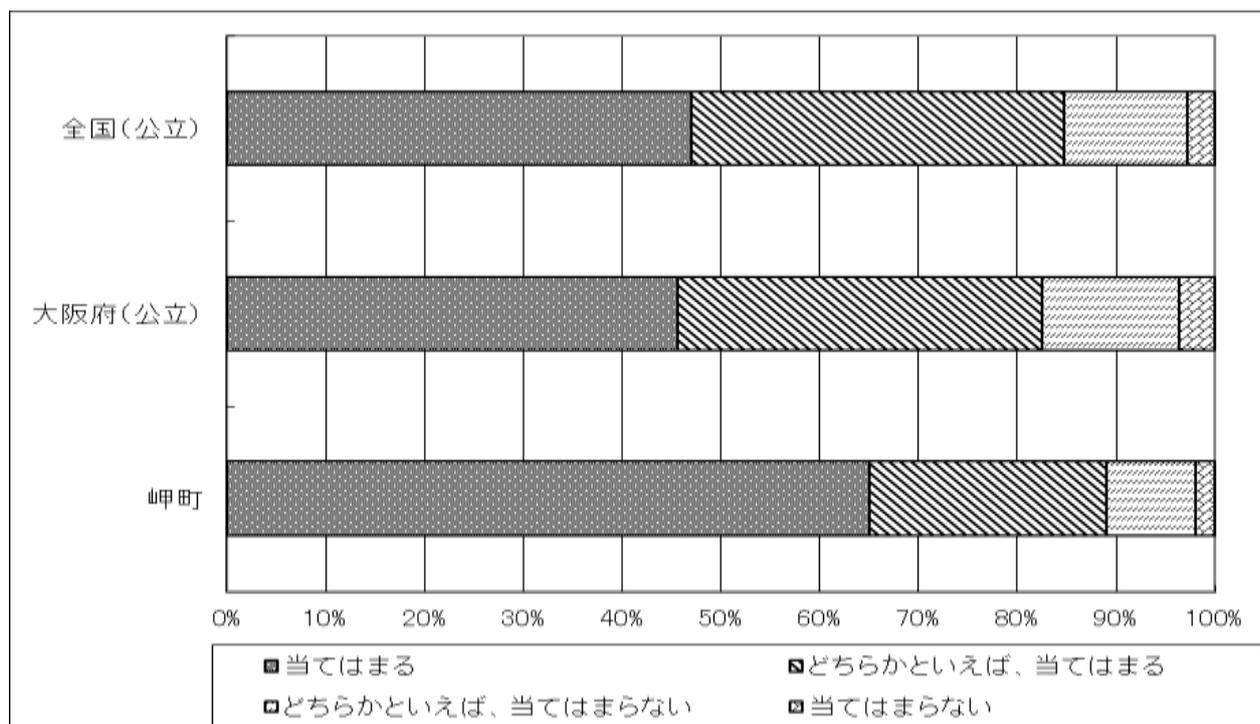
9. 普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある（中学校）



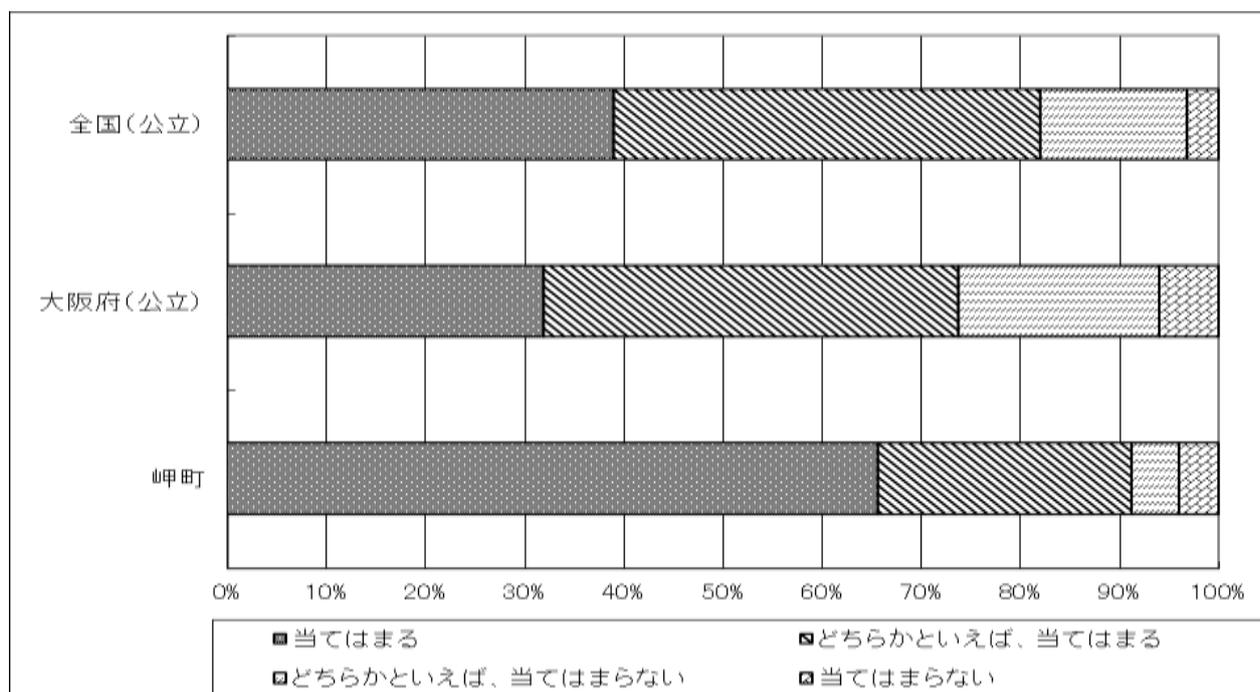
◎小学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が91.0%で昨年度と比較して6.6%増加した。各学校での授業の工夫がうかがえる。

◎中学校において「当てはまる」の割合が昨年度と比較して、5.3%増加した。今後も積極的な子どもたちの意見表明をおこなう機会を工夫していく必要がある。

10、 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると
 思いますか（小学校）



10、 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると
 思いますか（中学校）



◎小学校において「当てはまる」割合が昨年度と比較して12.5%も増加している。
 話し合い活動が年々増加している。

◎中学校において「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」割合が91.1%
 であった。今後も授業における子どもの主体的・対話的な学習活動の充実を図って
 いくことが大切である。